

フップシ岳

概要

アイヌの言葉で、フップシはトドマツのある場所という意味です。その言葉のとおり、トドマツの森が標高約 1200 メートルのフップシ岳の頂上までずっと広がっています。フップシ岳は阿寒湖の南西に位置しています。

植生

フップシ岳と雌阿寒岳、雄阿寒岳では、同じ標高でも異なる植物が生えています。フップシ岳の山頂はトドマツに覆われていますが、雌阿寒岳ではメアカンキンバイやメアカンフスマ、ガンコウラン等の高山植物帯、雄阿寒岳ではハイマツ帯となっています。その理由は、これらの山で火山活動が休止した時期が異なっていることに関係しています。

フップシ岳は、ハイキングは可能ですが、標識が整備された登山道はありません。